

文化まつりのPRに 防災無線の活用を

恵那文化まつりが、毎年春に恵那文化センターで開催されています。

ステージ部門・展示部門とも、出演者や出展者の日ごろの研さん、努力の姿を觀賞していただく晴れの舞台。内容も年々充実し、参加団体や参加者が増加し、まつりが市民にとって大きな楽しみ場の場となって参りました。

しかし、今年のまつりの反省会で観覧入場者数は、約700人との報告がありました。一日平均、両部門とも250人程度では、いかにも寂しく感じます。少なくともこの倍くらいの数字を望みたいし、それくらいの数となるよう努力すべきと思います。PR不足や宣伝下手が主な原因と思います。過去のまつりの際には利活用しなかった市の防災無線を使って、効

果的なPRを提言する次第です。
(加藤さん・恵那文化まつり実委)

答 恵那文化まつりのPR方法に対し、ご提言いただきありがとうございます。防災行政無線は、基本的には国の許可を得て、非常時や災害時などのために整備されたシステムです。

最近、住民の生活様式や仕事の勤務体制などが多種多様化してきており、「騒音」として訴える方もみえます。また過度の防災行政無線の利用は、緊急時の放送を聞き逃す原因になることも考えられます。緊急時以外は、与えられている時間での定時放送の中での運用となります。

市では、本年度からCATVによる告知放送(全戸)の整備を進めることになっており、こちらを活用してPRができるよう努めていきます。それまで可能な範囲内で防災無線を利用した広報を行うていくよう考えております。

また今後の恵那文化まつりのPRについては、ポスターの掲示やチラシの配布方法などについても再考して参りますので、今後ともご指導をよろしく願います。
(恵那文化センター・防災対策課)

子育て支援にも力を

託児ボランティアは、心身とも大変ですので、有償ボランティアにした方がいいと思います。ファミサポも、利用する側が負担していますが、これらの一部補助を市が持つなど、本当に次世代の育成を考えているのなら、老人介護のような補助を子育て支援にも予算付けしておくべきではないでしょうか。

保育に関しても、一時預かりなどを全保育園に設けるなどとして、もっと利用しやすいようにすることが必要だと思います。
(平成18年度市政モニター)

答 託児ボランティアにつきましては、イベントや講演会の主催者が託児を行うことが必要と判断された場合に、独自で行われているものです。場合によっては、主催者の判断により有料で行われるものもあります。

恵那市ファミリー・サポート・センター事業は、やまびこ保育園内と岩村保育園内で実施している事業で、子どもを預かってほしい人(依頼会員)と、子育てのお手伝いをしたい人(援助会員)が会

果的なPRを提言する次第です。
(加藤さん・恵那文化まつり実委)

答 恵那文化まつりのPR方法に対し、ご提言いただきありがとうございます。防災行政無線は、基本的には国の許可を得て、非常時や災害時などのために整備されたシステムです。

最近、住民の生活様式や仕事の勤務体制などが多種多様化してきており、「騒音」として訴える方もみえます。また過度の防災行政無線の利用は、緊急時の放送を聞き逃す原因になることも考えられます。緊急時以外は、与えられている時間での定時放送の中での運用となります。

市では、本年度からCATVによる告知放送(全戸)の整備を進めることになっており、こちらを活用してPRができるよう努めていきます。それまで可能な範囲内で防災無線を利用した広報を行うていくよう考えております。

また今後の恵那文化まつりのPRについては、ポスターの掲示やチラシの配布方法などについても再考して参りますので、今後ともご指導をよろしく願います。
(恵那文化センター・防災対策課)

一時保育事業に関しましては、野井保育園と山岡保育園で行っています。保護者が仕事の都合や病気などで、一時的に保育が困難となった場合に利用ができる臨時的な対応のサービスです。1時間300円で昼食やおやつは持参することになっていきます。(事前申し込みが必要)

平成16年度に策定した「恵那市次世代育成支援行動計画」では、現実の利用状況を検討した上で、平成21年に市内4カ所の保育園で開設する計画となっています。今後とも、できるだけ利用しやすい子育て支援策の推進に努めます。
(子育て支援課)



ごみ収集日を明確に

ごみの収集日が分かりづらいので、お年寄りにも分かりやすいように、いつ何を出せばいいのか、もっと大きく書かれたものが欲しいです。
(三田さん・岩村町)

答 現行のごみカレンダーは、ご指摘のとおり限られた紙面の中に最大限の情報掲載を行っているため、文字などが多少細かくなっているところもありません。

新たに作製する際には、内容やレイアウトを見直し、より分かりやすいものとなるよう配慮いたします。

また毎月15日号の「広報えな」の裏表紙に、翌月の不燃ごみと資源ごみの収集日程を掲載しておりますので、カレンダーと併せてごみの排出日をご確認いただきますようお願いいたします。
(環境課)



空き家への不安解消を

隣町で発生した事件で思うのですが、空き家となった建物が問題の温床になっていることが気になります。

私もかつて青少年育成パトロールで、町内の季節的のみ使用する農業関係施設、無施設の神社、旧集会所などが何者かに使用されている状況を見たことがありますが、事件・事故の起きない環境にすることが、お互い安心して暮らせる大切なことと思われまので、関係筋のご努力を期待します。
(平成18年度市政モニター)

答 防災対策課では、市内の空き店舗・空き家の調査を行いました。

調査した結果、管理状態に問題がある建物については、所有者などに管理に力を入れていただくよう、文書にてお願いしてまいります。また空き家すべての把握に努めておりますが、今後とも情報提供など、市民皆さま方のご協力をより多く願います。
(防災対策課)

ちよつと一言インタビュー



つどいの広場に参加。
小森あゆみ・和奏さん
(長島町正家)
広場では子どもと一緒に遊べ、お母さん方とも情報交換ができ、ストレスの解消にもなっています。恵那市に来て間がないので、皆さんと交流できる場所ができてよかったと思います。



幼少からの仲間を大切に
安齊昌治さん
(明智町東山1)
明智小学校の旧校舎最後の卒業生で卒業制作は校舎を描きました。当時は、仲間といたずらばかりして楽しい思い出ばかり。今でも変わらず付き合える仲間が今後も大事にしたい。



ワークショップで工作を体験
平出敦也君
(長島小学校4年生)
今回は洗濯のりを使った『スライム』づくりを目当てに来ました。ほかにもおもしろいブースがあり、みんなに作り方を教えてもらいながら楽しくできました。次回もまた来たいです。



わんわんパトロール隊に参加
細川 實さん
(大井町つつじヶ丘)
愛犬のナナとの参加です。地域を巡回して、子どもの安全を守っていきたいです。子どもたちや地域の皆さんとの交流が楽しみです。さらに地域のつながりを広めていきたい。